

令和7年度 完成へ!

古川沿川において、内水を強制的に河川へ排水する排水ポンプを引き続き整備し、また川の中の土砂を除去して洪水時の水位を低下させ、家屋浸水被害の軽減を図ります。

令和5年7月洪水の際の古川排水樋門付近の内水排除状況

事業期間 R2年度～R7年度



昨年7月豪雨時にも一定の効果を発揮しました。今後もこの整備をより確実なものにしてまいります。

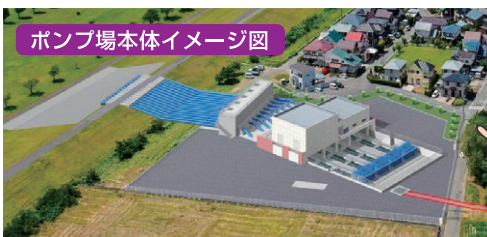


古川排水機場(排水機場Ⅰ)整備の進捗状況

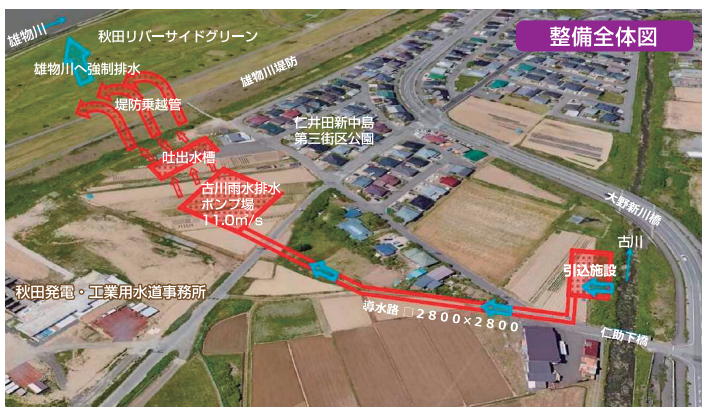
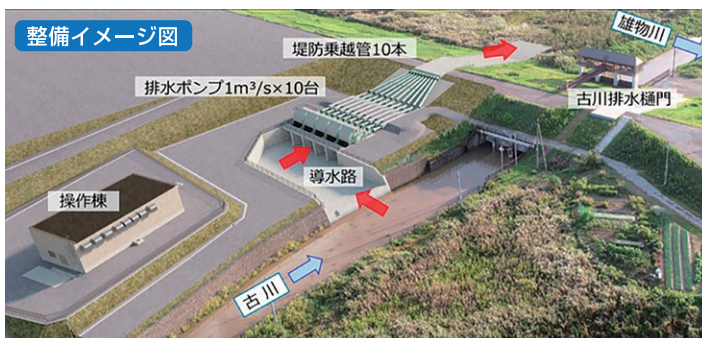
設置箇所 古川左岸側(四ツ小屋宇中山地内)
排水能力 10m³/s(コラム式水中ポンプ(1m³/s)×10台)
給電設備 発電発電機(ディーゼル式)×5台
排水形式 堤防乗越形式 Φ600鋼管×10本
操作棟 鉄骨平屋建、建築面積271.80m²

古川雨水排水ポンプ場(排水機場Ⅱ)・湯中町ポンプ整備の進捗状況

設置箇所 雄物川右岸側(秋田発電・工業用水道敷地北側)
排水能力 11.0m³/s(排水ポンプ(1.38 m³/s)×8台)
給電設備 発電発電機(ガスタービン式)
排水形式 堤防乗越形式 φ700×15本
引込施設 電動式引込ゲート2門
導水路 ボックスカルバート(幅2.8m、高さ2.8m) L=151.4m



7 古川の河川改修や排水機場等の整備

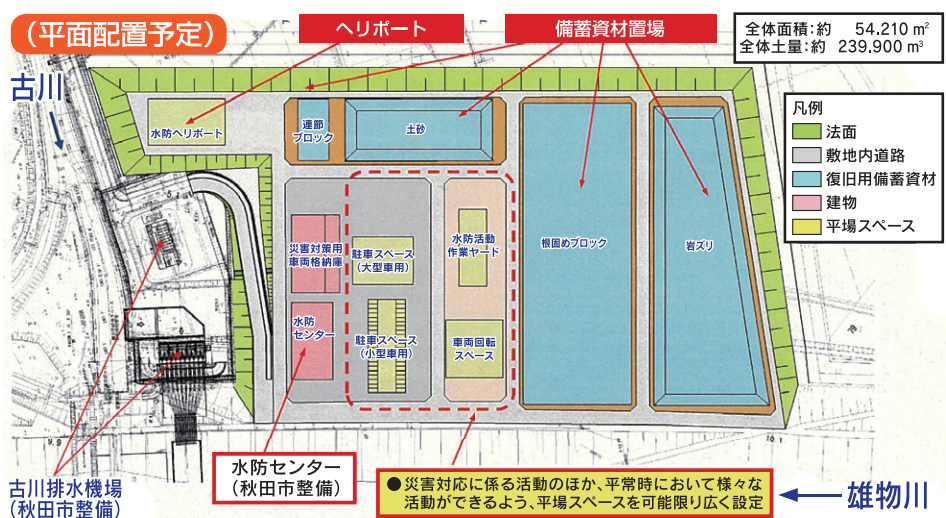


令和7年完成へ 秋田市初 河川防災ステーション

雄物川下流域の洪水被害を最小限とするため、災害時の緊急復旧活動に使用する緊急用資材の備蓄、作業車両の駐車場、ヘリポート等の機能を備えた秋田地区河川防災ステーションを整備するとともに秋田市が水防センターを設置し、あらゆる災害に対応していきます。

R5年度事業内容

用地協議・用地取得を実施



注) 記載内容は、最終精査により、若干変更が生じる場合があります

とがし博之 事務所

(自由民主党秋田県第一選挙区支部)
 〒010-1427 秋田市仁井田新田3-13-20
 TEL.018-839-5601/FAX.018-839-7911
 E-mail: hiroyuki@togachan.jp

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
 衆議院第二議員会館1019号室
 TEL:03-3508-7275(直通)/FAX:03-3508-3725

website



昨年7月の水害から1年 水害対策の進捗状況を集

とがし博之 国政レポート



衆議院議員 秋田1区(秋田市選出)

国・県・市等が連携し、飛躍的に進む流域治水対策

全国初 秋田市を流れる太平川で「内水被害等軽減対策計画」を登録



令和5年7月の豪雨により、雄物川水系太平川流域の中・下流部に位置する秋田市街地では、大規模な内水被害が発生しました。災害直後からスピード感をもって、国と県と市による関係者が連携し一体となって**雄物川下流域水災害対策プロジェクト**を策定しました。その中で内水被害の軽減を図ることを目的とした治水対策では、県と市が連携し、太平川流域(秋田市街地)における**「内水被害等軽減対策計画」**が策定され、国土交通省において登録されました。

これは、令和6年度の制度創設後、**全国初の登録**となります。今後、国土交通省が、計画に基づいて実施する河川・下水道事業について、重点的な財政支援に努めていくこととなります。

太平川における内水被害等軽減対策計画

- 全体計画額 約**428**億円
- 対象期間 **令和6年度～令和14年度**
- 計画策定主体 **秋田県、秋田市**

大雨の浸水現象をシミュレーション(下記の図) 令和5年7月同規模降雨



今後、事業をパッケージ化し、対策を加速化させてまいります。

この豪雨災害によって得た貴重な体験と教訓を今後の防災対策に生かしていきます

雄物川下流圏域水災害対策プロジェクト

～流域のあらゆる関係者が一体となった、安全で安心が確保できる治水対策の推進～



令和5年7月と同規模の大雨による浸水被害を大幅に軽減を目標

事業期間 R5年度～R14年度 事業費 約 **208億円**

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河川区域での対策**
- 1 太平川の河川改修【●】
 - 2 太平川上流治水対策の検討【●】
 - 3 旭川の河川改修【●】
 - 4 新城川の河川改修【●】
 - 5 草生津川の河川改修【●】
 - 6 秋田市内河川の災害復旧【●・●】
 - 7 古川の河川改修や排水機場等の整備
 - 8 猿田川樋門の設置【●】
 - 9 雄物川の河川改修【●】
 - 10 岩見ダム事前放流【●】
 - 11 秋田市内河川の河道掘削、伐木、除根【●・●・●】

- 集水域での対策**
- 12 田んぼダムの効果検証【●】
 - 13 公共施設等を活用した雨水貯留機能を有する施設の検討【●】
 - 14 下水道施設の雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲートの整備【●】
 - 15 森林の浸透、保水機能の発揮【●・●・●・●】
 - 16 治山対策の推進【●・●】

氾濫域での対策

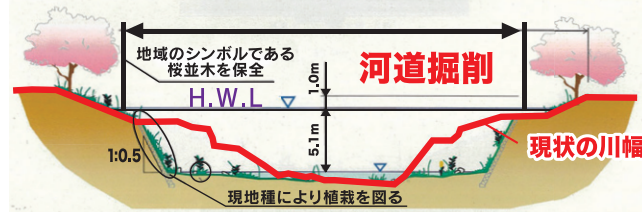
- 17 秋田地区河川防災ステーションの整備【●・●】

- 【秋 田 県】 ●
- 【国 交 省】 ●
- 【秋 田 市】 ●
- 【林 野 庁】 ●
- 【森林整備センター】 ●

1 太平川の河川改修 一級河川雄物川水系太平川 事業費 **195億円**

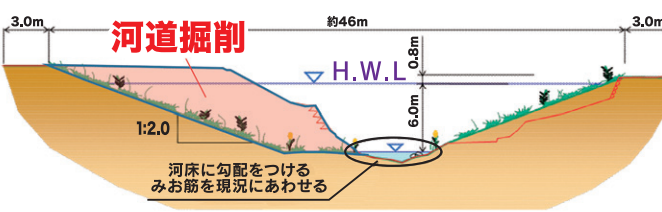
迅速な初動で国もスピード感ある対応を！
大雨で氾濫した秋田市・太平川を大規模改修へ
(2028年度完了を目指す)

- 事業内容** 掘削4,600m、護岸4,600m、樋門樋管1式等
着手年度 R5年度～R10年度
R5年度補正 事業費：29億円(国費15億9500万円)
事業内容：掘削、護岸、測量設計等



延長2.8km(桜大橋付近～新竹生橋付近)において、川の中の土砂を除去して洪水時の水位を低下させます。また、掘削後の法面保護のため、護岸を設置します。

- 事業内容** 河道掘削、護岸等
施行地 秋田市広面ほか
事業期間 R10年度～



4 新城川の河川改修

延長約1.8km(笠岡橋上流～秋田自動車道交差付近)において、川の中の土砂を除去して洪水時の水位を低下させるほか、堤防の高さが低いところは高上げをします。

【治水安全度】 現況：未改修 → 整備後：**流せる量を約3倍にします**

事業期間 R5年度～



新城川浸水状況

R5.7.15撮影



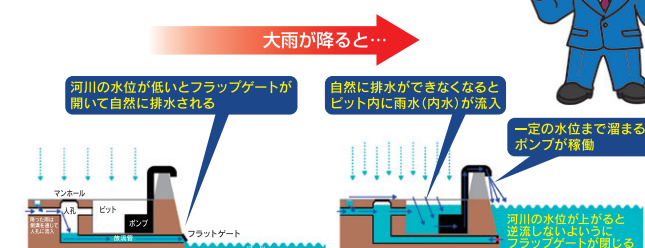
新城川浸水状況

R5.7.15撮影

5 八橋地区の排水ポンプ

八橋地区において、強制的に河川へ排水するため、局所的に排水ポンプの設置を検討することにより、家屋浸水被害の軽減を図ります。既設の雨水排水樋管8箇所にフラップゲートの整備を検討し、河川からの逆流を防止を図ります。

施行地 八橋 事業期間 R5年度～



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。